

甲殻類 シナリオ 無料試読版

トーキョーNOVA The Axleration
甲殻類シナリオアンソロジー
無料試読版
シナリオ① ドラッグを集めて早し 墨田川/ソエジマ
DONKEY HEAD QUARTERS



本作は「鈴吹太郎/F. E. A. R.」及び「株式会社KADOKAWA」が権利を有する『トーキョーNOVA THE AXLERATION』の二次創作物です。
(C) 鈴吹太郎/F. E. A. R.

CONTENTS

- シナリオ① ドラッグを集めて早し 墨田川/ソエジマ
シナリオ② ヒルコボックス/SONE
シナリオ③ 氷獄海域/SONE

- PAGE
P3-9
P10-17
P18-25

ザリガニ! シャコ! カニ!

シナリオ①執筆:ソエジマ

ザリガニシナリオを担当した者です。
ふるさと納税にハマリ、年末になるとカニやエビの画像を見続ける日々を送るここ数年。
ぼくだけザリガニです。カニでもシャコでもありません。多分美味しくないです。
でも高濃度のロゴスを体内に溜め込んでいるので、強くはなれると思います。

……飼料にロゴスを混ぜて育てた「ロゴスブロイラー」とか「ロゴス牛」とか、市場に出回ると大変なことになりそうですね……（こうしてシナリオ案が増えていく……）

企画/シナリオ②③執筆:SONE

本作はTRPG『トーキョーNOVA THE AXLERATION』のシナリオを集めた、同人シナリオアンソロジーです。

アンソロジーとしてのテーマは「甲殻類」です。なぜ甲殻類なのか——深い理由はありません。たまたま自分の周囲で同時多発的に、甲殻類をネタにしたシナリオが作られたという偶然。それに「TRPG二次創作ガイドライン」の施行と、「SPLL」で電子同人誌が販売可能になったタイミングが一致したこと。

「せっかくの機会だからSPLL取って電子同人誌を作ろう」

「どうせなら死ぬほどくだらないネタで、NOVA初のSPLLを取得したい」

そんな思いつきの結果、この企画が爆誕しました。つきあっていただいたソエジマさんも、大概酔狂だなあと感じます。

事情が事情ですので、とにかく製作スピード重視です。クオリティに関しては不問に願います。ですが結果的には、NOVA界隈で「カジュアルにSPLLを取得して電子同人誌を販売する」きっかけには丁度よいのではと期待してもいます。こういうのって、最初のハードルが低い方が良いですからね！

それでは、めくるめく甲殻類ワールドをお楽しみください！

シナリオ①

ドラッグを集めて早し

プレアクト

■シナリオデータ

- ・シナリオ作者：ソエジマ
- ・プレイヤー人数：2~3人
- ・想定プレイ時間：1~2時間
- ・使用経験点：0~40点
- ・使用サプリメント：『TNX』『TOS』

■アクトトレーラー

強くなる^{クスリ}理由を知った

ロゴス キメて 殴れ
——ストリートの流行歌

レッドエリアの荒事屋たちは
今日の食い扶持稼ぐため
明日の命を擦り減らす

血も汗も涙もドラッグも
彼らが流した雫の奔流は
墨田川に死神を生み出した

トーキョーNOVA THE AXLERATION
ドラッグを集めて早し 墨田川

かくて運命の扉は開かれた

■キャスト作成

●ザリガニとの邂逅表

本シナリオでは個別の導入は存在しない。キャストは全員“ザリガニスレイヤーズ”のメンバーとして“墨田川の死神”と対峙する。

隊に所属するに至った経緯は以下の「ザリガニとの邂逅表」から選択すること（Draw or Choiceなので、自分で選んでもよい）。

個別の導入や個別に想定されているイベント等もないため、RLの許可を得ることができるなら、任意の理由・スタイルのキャストで参加しても構わない。

●必要な神業

キャストの死亡を防ぐため、防御神業が2つ以上必要だ。

■キャスト間コネクション

共通ハンドアウトを用いる本シナリオには所謂「PC番号順」は存在しない。名前の五十音順、CS順、スタイルナンバーの合計の多い順など、何でもいいが並び順を決めた後、PC①→PC②→PC③→PC①の順でコネクションを取ること。

アクトハンドアウト

共通ハンドアウト

コネ：“墨田川の死神” 推奨スート：ハート

君は[「ザリガニとの邂逅表」参照]を目的に、アサクサの住人（その音頭を取っているのは藤咲不動産だ）が結成した寄せ集め部隊“ザリガニスレイヤーズ”に加わった。標的は“墨田川の死神”。墨田川沿い（アサクサ南部）を荒らすヒルコ。ストリートの荒事屋たちが使用したドラッグが墨田川に流れ着き、その蓄積で突然変異したザリガニだ。



●ザリガニとの邂逅表

カードの数字	理由	推奨スタイル	解説
2/3	縄張り争い	ヒルコ	墨田川は君の縄張りだ。生態系の頂点は君でなければならない。それを荒らす新参者“墨田川の死神”との共生は不可能だ。弱肉強食の掟に従い、退場してもらおう。 【PS：縄張りを取り戻す】
4/5	過去の贖罪	ミストレス ^(*)	君が動物と会話できた頃、心を通じ合わせたザリガニがいた。あれから世界は加速した。友人だったザリガニは死神となり、墨田川で暴れている。彼にはもう、君の声は届かない。 【PS：“墨田川の死神”の最期を見届ける】
6/7	腕前の換金	カタナ ^(*)	君の腕前は金の雨を降らせる。それだけのことだ。“墨田川の死神”を《死の舞踏》で仕留めて報酬を受け取る。ハイリスクでハイリターンな、ただの仕事だ。 【PS：“墨田川の死神”を倒す】
8/9	証拠の隠滅	クグツ	“墨田川の死神”を生み出したのは、君が務めるヘイロン社製のコンバットドラッグ・ロゴスだろう。この機密を“墨田川の死神”ごと《完全偽装》するのが社の意向だ。 【PS：機密流出を防ぐ】
10/J	強さの追求	チャクラ	“電脳世紀最強”。あらゆる生命体が一度は望み、そして諦める夢を君はまだ追い求めている。この道を歩むため、鋏と甲殻の超暴力“墨田川の死神”をねじ伏せろ。 【PS：“墨田川の死神”に勝つ】
Q/K	任者と極道	レッガー	“墨田川の死神”に荒らされたアサクサ南部には規制線が張られ、立ち入りが禁じられた。藤の代紋がこの状況を許すわけもなかった。そして放たれた鉄砲玉が君だ。 【PS：アサクサを取り戻す】
A/JOKER	猫の好奇心	ニューロ	今、最先端のコンテンツこそが“墨田川の死神”だ。だが直接絡もうという人間はいない——君を除いて。危険がある証拠だろう。だが、好奇心になら、殺されても構わない。 【PS：“墨田川の死神”を調べる】
任意	任意	任意 ^(*)	君には“墨田川の死神”を倒す理由がある。他の誰かがそういったわけではない。君が自分で、そう決めたのだ。それは大切に、必ず貫かなければならない生き方だ。 【PS：任意 (PLが設定すること)】

(*)ミストレス
トーキョーN◎VA-Dの時代、ミストレスには《動物との会話》という特技があった（その名の通り、動物と会話ができる特技だ）。ハンドアウトに書いてあるのはその部分をフィーチャーしただけだ。動物と会話できなくても構わない。この枠は、自分が仲良くしていた野生生物に対し、責任を取らないといけない立場にある、実質ヒロインのような枠だ。

(*)カタナ
無論、カゲやカブトワリでもよい。

(*)任意
本シナリオには《完全偽装》を目的とするクグツが参加する可能性がある。真実を明らかにする目的のトーカーや、敵対企業のクグツなどの参加はRLやPLの顔色を見ながらやろう。



RL用テキスト

■ストーリー

ストリート of 荒事屋たちはログスに頼りすぎた。彼らが流す涙、汗、血、そしてそれらに含まれるログスは墨田川に流れ着き、そこに住む1体のザリガニに突然変異が起きた。“墨田川の死神”と呼ばれるヒルコの誕生だ。

それに目を付けたのが、NOVAスポ・オカルト記事担当の記者“UMA娘”伊納ミエルだ。彼女はスクープを掴むため、“墨田川の死神”による危機を煽り、また“墨田川の死神”を操るようになった。

“墨田川の死神”の暴走により、アサクサ南部は規制線が張られ、立入禁止の危険地帯と化した。対応したSSSも歯が立たない中、藤咲不動産の後方支援により、アサクサに“ザリガニスレイヤーズ”が結成された。

キャストはそれぞれの理由を胸に、“墨田川の死神”及び伊納ミエルと対峙することになる。彼らを倒し、平和なアサクサを取り戻せばシナリオ終了となる。

■SPS

『CTL』で追加されたSPSのルールを使う場合、【SPS：墨田川を取り戻す】を配布すること。本シナリオにそれ以外の共通の目的はない。最初に配布してもいいだろう。

オープニングフェイズ

●シーン1：死神降臨

シーンプレイヤー：RLシーン

登場：キャスト登場不可

◆解説

“墨田川の死神”誕生のシーン。PLに手札回しをさせてあげよう

◆描写

月明かりの眩しい夜。墨田川沿い。南側、レッドエリアの一角。

それはちっぽけな話だった。病気の妹を助けるために1シルバーで小悪党を殺した荒事屋がいた。その荒事屋に襲い掛かるのは、殺された小悪党に3シルバーの借りがあり、小悪党を兄貴と慕うチンピラ。

「この野郎！ 兄貴の仇だ！」

襲い掛かるチンピラは、スリーアクションを起動する。神経伝達はサイバーシリンジをフル回転させ、ログス、ログス、ログス。頭と心が沸騰する高揚感を感じつつ、手に握った鉄パイプを振りまわす。

荒事屋は反射的に迎え撃つ。拳銃を抜き打ち、鉛玉の雨をチンピラを浴びせる。彼の血管を支配しているのもログス、ログス、ログス。

弾丸で己の意志と無関係に、踊るようにチンピラは後ずさりし、墨田川に落下した。もう浮かんでくることもないだろう。少し下流に流されて岸に引っかかると、腐肉を求める魚や小動物が姿を現した。

それはその中にいた。後に“墨田川の死神”と呼ばれ、アサクサを恐怖に陥れる怪物。

この時はただ少しだけ異形のザリガニだった——腐肉を漁るついでに、流れ着いたチンピラのサイバーウェアも自分に取り込んでしまう程度の。

サイバーシリンジを取り込んだザリガニは、今まで以上に

墨田川の水が自分に力を与えてくれる感覚に惚けていた。背後に天敵のウシガエルが忍び寄ったことも気が付かない。ウシガエルはそのまま、ザリガニを飲み込もうとした。

瞬間、ウシガエルは小間切れになっていた——その場にはウシガエルの残骸と、窮屈さから行われた突然の脱皮後の抜け殻だけが残されていた。

“墨田川の死神”誕生の瞬間だった。

◆結末

描写を終えると、場面には映画のタイトル風に「ドラッグを集めて早し墨田川」のタイトルロゴが入る。シーンを終了する。

RLの手札が不安なら、“墨田川の死神”は〈融合〉の判定でもしてしまう。

RL向けガイド①

・画像イメージ

ザリガニの画像がほしい？ フリー素材があるじゃないか。

・リサーチフェイズの場所

テストプレイでは、墨田川から追い出されたヒルコが、自分の住処にしていた場所でリサーチをしたいとリクエストした。規制線が張られているのは墨田川の一部とし、その上流や下流には入れることにしよう。



●シーン2：ザリガニスレイヤーズ

シーンプレイヤー：特になし^{(*)4}

登場：全員登場

◆解説

“ザリガニスレイヤーズ”の結成式。キャストは全員この場で顔を合わせる。

◆描写①

アサクサ北部。藤咲不動産が管理する貸し会議室に集められた腕利きたちが見せられたのは、巨大なザリガニの暴走だった。墨田川から身を乗り出し、住居や店舗を破壊していく。SSSも出動するが、砲撃は甲殻に阻まれ、装甲車は鉋で引き裂かれる。

圧倒的な超暴力がそこにはあった。

一連の映像、巨大なザリガニのモンスタームービーを見せられた後、一人の男が口を開いた。男の名前は鬼塚。アサクサを仕切る藤咲不動産の管理職で、今回の仕切りを任せられた立場にある。藤咲に関係しているのだから、ヤクザかもしれない。

▼セリフ：鬼塚（エキストラ）^{(*)5}

「皆様にお集まりいただいたのは、他でもありません。この怪物ザリガニ……いつの間にか“墨田川の死神”などと呼ばれるようになったこれを退治してほしいのです」

「現在、アサクサ南部^{(*)6}には規制線が張られ、対応したSSSもこの様です。浅草寺やアサクサ六区、花やしきは立入禁止。住民はお困りです。よって害獣駆除をお願いしたい」

「即席ではありますが、この怪物を皆様の腕とチームワークで退治してほしいのです。そこで皆様、まず自己紹介をお願いできますでしょうか」

◆描写②

鬼塚は全員に自己紹介を促す。全員が自己紹介を行い、それぞれのやりとりや掛け合いを行ったところで、鬼塚は1人ずつに5報酬点を渡す。

▼セリフ：鬼塚（エキストラ）

「アサクサは本気です。藤咲不動産もね。これは害獣駆除の経費です」

◆結末

描写を終えたら、シーンを終了する。

リサーチフェイズ

■クライマックスの条件

「●シーン4：突入」の後にクライマックスフェイズへ移行する。

■イベント

●シーン3：UMA娘 プリティートーキー

条件：伊納ミエルの情報が開示された後

シーンプレイヤー：RLシーン

◆解説

伊納ミエルと“墨田川の死神”が〈伝心〉^{(*)7}を使って心を通わせるハートフルなシーン。

◆描写

規制線が張られ、人通りが消えた墨田川沿い・アサクサ南部。アサクサ六区や浅草寺、花やしきの人だかりで賑わうはずが、ゴーストタウンと化している。

静寂のアサクサを支配するのは、墨田川から何かが飛び跳ねる音と、ひとりの少女の泣き声。

「なるほどなるほど、そうかそうか。君、川の南側のヒルコ街には興味がないんだね。行くなら北側、と」

SSSが用意した装甲車は無残にも引き裂かれ、墨田川を飾る退廃的なオブジェと化していた。静寂と破壊と死のみが漂う墨田川で、巨大なザリガニに語り掛ける少女の構図は幻想的でしたらあった。

「あー、そうか。コンバットドラッグを使う荒事屋って、だいたいレッドエリアの人が多いもんね。墨田川検問を越えようとする人とか。その人たちのドラッグの影響だから、北側に目が行くのか」

少女は納得した様子だが、興味はなさそうだ。

「でも私が欲しいの、そういうシリアスな話じゃないのよ。もっとザリガニ、どーん！ って、バーン！ ってなって、ニューロ！ な。伝わるかな（〈伝心〉の判定を行う）」

ふと、少女が川の北側に目を向ける。そこにはたまたま目についた、花やしきの観覧車があった。“墨田川の死神”の視線も同じものに向いている。

“死神”の巨大な脚が、川沿いのアスファルトにめり込んだ。音の向かう先は、アサクサのシンボル。

「お！ いいねいいね！ 殺る気になった！？ よーし、配信開始しちゃうぞ。死神の次の目標は花やしき！ か？」

少女が持つカメラに、地響きを立てて歩く“墨田川の死神”と、その先の花やしきの観覧車が映りこむ。そしてそれは世界に配信された。

◆結末

描写したらシーン終了。

(*)4 シーンプレイヤー
特に決めなくてもいい。手札がいい人にするか、全員回したいなら鬼塚をシーンプレイヤーにしたRLシーンにしてもよい。

(*)5 鬼塚
エキストラ。完全に端役で特に設定もない。PLが望むなら、このポジションは藤咲竜二や河渡白夜（あるいは彼らから依頼を受けたドーリスなど）が行っても構わない。

(*)6 アサクサ南部
TNX45Pを見るとイメージしやすい。浅草寺、アサクサ六区、花やしき周辺だ。

(*)7 〈伝心〉
RLの札回ししよう。手札がよければ判定しなくてもいい。なお、PCの人数が2人の場合や戦力が厳しい場合、〈伝心〉ではなく《ブリーズ》を使う宣言をして神業を消費しておこう。



●シーン4：突入^(※8)

条件：「●シーン3」の後、花やしきに向かった
シーンプレイヤー：任意

◆解説

アサクサ南部には規制線が張られている。それを突破するシーン。ここから先に進むには、一工夫必要になる。

〈心理〉〈交渉〉等で話をつける、〈射撃〉〈白兵〉などで脅す。〈隠密〉でこっそり通る。〈コネ：長谷部万力〉があるならばそれを使ってもいいだろう。

キャストの誰か一人でも目標値12の判定に成功すれば、ここから先に進むことができる。

◆描写

「報道です！ ちゃんと説明してください！」

「警察のイヌにはわからんかもしれないが、おれたちはここで商売してるんだ！ 店にザリガニが来て殺されるならそれまでだ。どいてくれ！」

「ちえー。折角観光に来たのにアサクサ六区に入れないのか？」

「は、花やしきに怪物が向かった噂、本当なのか！？」

情報が欲しいメディア、家に帰りたい現地の商売人、とりあえず首を突っ込みたい野次馬気質な観光客。規制線の手前は人、人、人。

「あたしの立場がないでしょ！ 誰も通すな！ 市民のいうことなんか無視しときなさい！」

SSSの悪徳警官、長谷部万力も現場の指揮に駆り出されていた。警察のバッヂを盾に、一般市民に権威を見せつけるいつもの仕事だ。

▼セリフ：長谷部万力

「ちょっとちょっと！ ここから先は通っちゃダメよ。これだから何も知らない一般市民は……」

「フヒ！？ あ、アンタなんでここにいるの！？」

「と、通っていいわよ……そ、その代わりに、あたしが通したことは黙っておいて……」

◆結末

規制を突破したらシーン終了。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることができる情報項目は以下のとおり。

全員共通：「墨田川の死神」、アサクサの規制線

◆“墨田川の死神”

〈社会：ストリート、テクノロジー、企業〉

〈コネ：“墨田川の死神”〉

14 一人称二人称口癖等なし。加速した時代では会話は成立しない。(ザリガニの泣き声よくわからないので「キシャー！」とか言っているとそれらしくなると思う)。

一説によると、ストリートの荒事屋たちが使ったコンバットドラッグが排水として墨田川に流れ着き、その蓄積で突然変異した超巨大ザリガニ。装甲車を引き裂き、弾丸を跳ね返す甲殻を持つ超暴力。過去には心優しきミストレスと心を通わせたこともあるらしいが、現在は爆発した感情に身を任せる凶獣となっている。また、墨田川の生態系も破壊されつつあり、現地のヒルコたちの頭痛の種にもなっている。

制御値^(※9) 最も吸い込んでいるドラッグはログスで、凶悪な破壊力を手に入れている。“死神”の異名は伊達ではなく、素早い動きと隠密性も兼ね備えている(カゲ)。

◆アサクサの規制線

〈社会：ストリート、警察、メディア〉

12 現在、警察組織も“墨田川の死神”の正体を掴み切れておらず、緊急避難的にアサクサ南部に規制線を張り、全ての人間を追い出している。この中に入るには何らかの工夫が必要だろう。

メディアも規制線の中に入れないため、報道では苦戦しているはずだが、唯一N◎VAスポUMA^(※10)デスクのトーキー“UMA娘”伊納ミエルが詳細に報道を続けている。

→【“UMA娘”伊納ミエル】がリサーチ可能になる。

◆“UMA娘”伊納ミエル

〈社会：ストリート、メディア〉

14 19歳女子。一人称：私、二人称：アンタ。世間知らずなニューロキッズ仕草が多め。外見は画像イメージ参照。N◎VAスポ所属。主にUMA関係の記事を担当している。怪物・妖怪との遭遇率が高く、よくスクープをものにするが、世間の評価が低いことに不満を持っている。

制御値^(※9) マヤカシゆえに幼少期から普通の人には見えないものが見えてしまった少女。

〈伝心〉により、その気はなくとも自分が望む通りに知性・知能の低い生物の意思に指向性を持たせることができる(本人にマヤカシとしての自覚はない)。“墨田川の死神”も彼女の影響を受けており、それが大暴れする記事——例えば、花やしきを破壊するような徹底的瞬間——を報道することで、UMA系トンデモ記事の地位と自分への評価をあげようとしている。

→花やしきに向かう場合、

「●シーン3：UMA娘 プリティートーキー」が発生する。

(※8) PC3人の場合
神業が余りそうなら判定の代わりに適当な神業を使わせることにしてもよい。《脱出》《不可触》などはイメージにも合うだろう。ただしハイロンクグツがいる場合は《完全偽装》はこの後の展開のために残しておいた方がいい。

(※9) 制御値
それぞれ“墨田川の死神”、“UMA娘”伊納ミエルの制御値を参照すること。

(※10) UMA
Unidentified Mysterious Animal (未確認生物)。ネッシーや雪男など。なお“ゆーま”と読む。伊納ミエルは“ゆーまむすめ”だ。



クライマックスフェイズ

●シーン5：ドラッグを集めて早し墨田川

シーンプレイヤー：特になし

◆解説

PCたちが花やしきに辿り着き、戦闘を行うシーン。

伊納ミエルが《暴露》を使用したところからPCは登場する。

◆描写

「こちらN◎VAスポUMAデスクです！ 現在“墨田川の死神”は墨田川から上がり、北上中！ 花やしきに到達しました！」

カメラを回しながら、伊納ミエルは“墨田川の死神”の後を追う。その声は緊張感をほらみつつも、どこか楽しそうだ。

「今！ “墨田川の死神”によって！ アサクサのシンボルが破壊されようとしています！ 人間はヒルコの前に無力なのか！ 一説によればヘイロンのドラッグ・ロゴスが産んだとされるこの怪物！ 責任は誰にあるのか！」

そして“墨田川の死神”は、装甲車をも切り裂く鋏を振り上げ——花やしきの入口に振り下ろした。

▼セリフ：“墨田川の死神”

「キシャーッ！」

「(鋏を振りまわす)」

「(鋏で握りつぶそうとする)」

「(甲殻ではじく)」

▼セリフ：“UMA娘”伊納ミエル

「ちょっと、横入はやめて。これは私だけの独占スクープなの。ヒルコの恐怖とアサクサに残された爪痕を報道して、私は有名になるの！」

「その武器、もしかして……“墨田川の死神”を倒す気？ いいわね！ 挑んで！ そして負けて！ その様子、数字になりそうだから！」

(主に荒事屋に)「ひょっとして、戦闘のプロ？ 貴方たちもロゴス使う？ ねえ、このザリガニ、ロゴスが原因でこうなったみたいなんだけど、そんなにロゴスって使いやすい

の？」

(主にミストレスに)「訴えかけても無駄よ。ザリガニなんか言葉が通じるわけじゃない」

◆結末

カット進行を終えたらシーン終了。

エンディングフェイズ

●シーン6：アサクサや兵どもが夢の跡

◆解説

エンディング。“墨田川の死神”を倒し、アサクサに平和は戻った。

各キャストに合わせてエンディングを描写すること。

何はともあれ、報酬や感謝の言葉を受け取るもよし。

突然変異で生まれたヒルコが他にもいるならば、その対応もあるだろう。

伊納ミエルは生きているのか死んでいるのか。生きているならどう責任を取らせるのか。

各PLの意見を参考に、エンディングを描写すること。

◆結末

キャストたちの後日談を描写したら、アクト終了。

RL向けガイド②

・元ネタは？

2021年6月ごろ、アメリカの研究で発表された「抗うつ剤の影響を受けたザリガニ」の話です。多分「ザリガニ 抗うつ剤」で検索すると出てきます

・PCにトーキー枠ってどう思う？

難しいと思います。クグツ枠とバッティングするのに加えて、敵ゲストもトーキーだからです。敢えてやるなら「報道合戦」に持ち込むとか。俺と《暴露》バトルで勝負だ！

ただし、その場合でもN◎VAトーキーにするとかなり回しにくくなると思います。PLが「N◎VAスポのトーキーやりたい！」と言いついた時は、流石に止めた方がいいと思います。



ゲストデータ

“墨田川の死神”

▼スタイル

ヒルコ◎●、カゲ、チャクラ

▼神業

□《天変地異》 □《不可知》 □《黄泉還り》

▼能力値

理性：8/12 感情：5/15 生命：8/14 外界：2/7

CS：10 AR：1

▼技能

4RPLM 白兵

4RPLM 縮地(TNX210)

4RPLM 融合(TOS64)

4RPLM 巨体(TOS64)

4RPLM 拳法(TOS98)

▼アウトフィット

・生体武器：爪 (TOS124) 電：14/隠：4

・鎧皮 (TOS124) 電：17/隠：10

防 (S/P/I)：5/4/7

肉体ダメージを5点軽減する。1シーン1回。

・スリーアクション (TNX241) 電：15/隠：12

・サイバーシリンジ (TNX243) 電：15/隠：18

・ログス (×無数) (TNX255) 電：--/隠：18

▼戦闘プラン

セットアップ：〈縮地〉を使用。

マイナーアクション：スリーアクションでサイバーシリンジを3回使用。ログスを3回使う。

メジャーアクション：〈白兵〉〈巨体〉による攻撃。達成値+4、攻：S+16。

リアクション：鎧皮を使用して肉体ダメージを軽減する。

“UMA娘”伊納ミエル

▼スタイル

マネキン、マヤカシ、トーキー◎●

▼神業

□《ブリーズ》 □《守護神》 ■《暴露》

▼能力値

理性：6/13 感情：9/15 生命：3/10 外界：3/10

CS：9 AR：1

▼技能

2-P-M コネ：“墨田川の死神”

2-P-M 人使い(TNX195)

1-P-- 伝心(TNX218)

3RP-M 名解説(TOS104)

▼アウトフィット

特になし

▼戦闘プラン

メジャーアクション：〈人使い〉〈コネ：“墨田川の死神”〉で支援を行う

その他：〈名解説〉で“墨田川の死神”のメジャーアクションの達成値を上げる。



伊能ミエル・イラスト：信春(@nobhal719)さん

奥付

甲殻機動態

トーキョーN◎VA The Axleration 甲殻類シナリオアンソロジー（無料試読版）

製作者：SONE(twitter:@sone_99)/DONKEY HEAD QUARTERS

発行日：2021.12.01

最終更新：2021.12.01

本作は、「鈴吹太郎/F.E.A.R.」及び「株式会社KADOKAWA」が権利を有する『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』の二次創作物です。(C) 鈴吹太郎/F.E.A.R.

